

北浦小  
学校だより

そつ たく

# 啐啄

令和2年度  
2月号

NO. 9

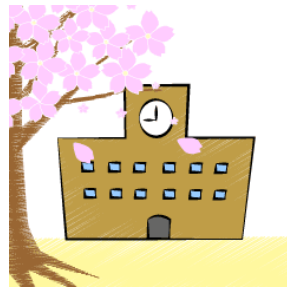
文責：校長 三輪正憲

学校便り「啐啄」「そつたく」～  
「啐」は、ひなが卵の殻を破って  
出ようとして鳴く声、「啄」は母鳥  
が殻をつつき割る音です。

## 3月行事

※感染状況により、延期や中止等の場合もあります。

- 1日(月) 朝の一声運動
- 2日(火) 全校朝会
- 4日(木) 集金日
- 5日(金) 忘れてはいけない日  
読み聞かせ
- 9日(火) 地区集会
- 10日(水) せせらぎ号来校
- 12日(金) お別れ遠足・弁当の日
- 16日(火) P T A 読み聞かせ
- 25日(木) **卒業式**
- 26日(金) **修了式**
- 30日(火) 離任式(予定)



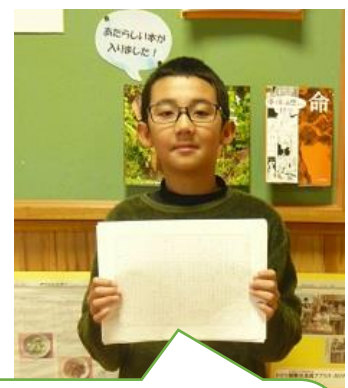
※ 残念ながら今回の卒業式も、感染症対策のため、卒業生、保護者、職員、在校生で行う予定です。来賓の皆様、地域の皆様をお呼びすることが叶いません。申し訳ございません。

## 北浦町「子どもの声を聞く会」

例年2月初旬に開催されてきた「子どもの声を聞く会」は、感染症対策により紙上発表となりました。北浦小代表で発表予定だった3名の子どもたちを紹介します。



4年生代表 水木くるみさん  
「今の社会に思うこと 私たちに  
できること」～コロナに負けるな！  
一日も早い収束を願い続けながら生  
活していきたい～



6年生代表 中野あいきさ  
さん「野球部で学んだこと、そし  
て 将来の夢」～自分から行動  
する。将来の夢に近づける～

5年生代表 吉田なごみさん  
「今の自分と これからの自分」  
～今の積み重ねの先に未来があ  
ります。努力を続けたい～



それぞれの思いのこもった力強い言葉が印象的です。

お昼の放送の時間に、それぞれの作文を立派に発表してくれました。

## 花の苗、ありがとうございます！

今年も学校の梅に木に、きれいな花が咲きました。春の足音が少しずつ聞こえてきます。学校のプランターや花壇、子どもたちの一人一鉢には、勢いよく育った苗にきれいな花が咲こうとしています。渡部先生が準備してくださった花の苗です。2月の全校朝会で子どもたちへ次のような話をしました。

『みなさんも 学級園の苗を植えたり、一人一鉢の自分の鉢の苗を植えたりしましたね。渡部先生が準備してくださった花の苗ですよ。植えるときにお話を聞いたかもしれませんが、渡部先生は小さな小さな一粒の種から、あの苗を育ててこられました。みんなが運動会の練習に一生懸命だった夏の頃から、毎日毎日、世話をしてこられました。熱中症が心配される暑い夏の日も、手先が凍るような寒い冬の日も、台風のような風の日も、私たちが休んでいる土曜日や日曜日、冬休みも、お正月もです。その日の気温や太陽の様子、風の様子を見ながら、出てきた葉の様子を見ながら、水をかけたり、お日様のあたる場所を変えたり。校長先生には、分からないもっと大変な苦勞が、毎日毎日あります。きっと、3月の卒業式に、修了式に、備えて、「きれいな花で、次の学年へと進む北浦小の子どもたちを送りたい。6年間がんばってきた6年生を送りたい。4月には、きれいな花でピカピカの1年生を迎えたい。」そう、思って世話をしてこられたのでしょ。心をこめて育てられた苗を、みんなへバトンタッチされました。約6か月、180日かけて世話をしてきたいのち。どうぞ、そんなことも想像して、自分の鉢の苗を、学級園の花を、見てあげてください。お世話をしてあげてください。』

いろんな所で支えてくださる方々のおかげで、春を迎えることができます。いろいろな方々へ感謝の気持ちを忘れずにゴールへ！



半年前、小さな種から子葉



北校舎・音楽室から、きれいなピアノの音が聞こえてきます。五年生が一生懸命、卒業式や修了式へ向けてピアノの練習を重ねています。木原先生と一緒にがんばってきました。残念ながら、感染症対策で、式の歌自体を省略せざるを得なくなりました。それでも準備をしてくれたことに、感謝したいです。

「ありがとう」